

## 「子どもたちの笑顔の花を咲かせたい」



見頃を迎えたかつの校の桜（5月2日撮影）

・5月になり、ようやくかつの校の桜が満開となりました。例年であれば、桜の木の下で全校写真を撮るのですが、今年はひっそり寂しそうに咲いています。

・桜の花は一部の品種を除いて、木の下から鑑賞しやすいように下向きに咲いています。桜の花が下向きに咲く理由は、①花が付いている茎の部分

が細くて長いので重みから ②種の元になる花粉を冷えや風雨から守ろうとしているから ③受粉のときに雨に花粉を流して運んでもらうためなどと言われています。しかし、一番の理由は「たくさんの人に美しい花を見てほしいから」だと思います？

・小さい子どもはうれしいときや困ったときに、周りの大人に対して「見て！」「見てね！」と言うことがあります。頑張っている自分を認めてほしいという承認欲求と、信頼できる大人に見守ってほしいという安全の欲求の表れです。大きくなるにつれて、言葉での表現は少なくなりますが、子どもはいつも「見てほしい！」という気持ちをもっています。「それでいいよ」と言葉で評価されて満足する子ども、「あなたを見ているよ」とアイコンタクトを送るだけで伝わる子ども、言葉と一緒にスキンシップをされて喜ぶ子どもなど、個人差があります。一人一人の子どもに合っ「えこひいき」を心掛けたいものです。

・桜は散ってから、その3か月後くらいに次の芽を付けます。しかし、その芽は一度眠り、暖かくなるのを待ってから一気に咲きます。桜はちゃんと咲くべきときを待つことができます。かつの校も子どもたちが元気に登校する日を待ちながら、子どもたちに笑顔の花を咲かせたいと思います。

